

## 課題意識

- 過疎地域等をはじめとする地方圏では、著しい人口の高齢化、低密度化に伴い、生活支援サービス需要の増加の一方、地域づくりの担い手不足という課題に直面している。
- 一方、ライフスタイル、働き方の多様化が進み、多くの若者が従来の都市指向からローカル指向になり、人の役に立ちたいとのソーシャルな価値を重視するトレンドが生まれている。
- 実際、地域によっては若者を中心に田園回帰といわれる現象が確認されており、変化を生み出す人材が地域に入り始めている。
- 人々と「ふるさと」との関わりも多様化する中生まれている、人々が居住地以外の地域に想いを寄せ、その地域に貢献しようとする動きも踏まえ、地域における今後の移住・交流・「ふるさと」との関わりを推進する施策のあり方について議論。

## 移住・交流、「ふるさと」との関わりを推進

- 国土の保全等、国民全体の安全・安心な生活を支える極めて重要な公益的機能を有している農山漁村の価値や役割を国民全体が認識・評価した上で、国民全体で支えることが求められている。
- 地域住民が主体となる地域づくりであるが、地域外の人材等もその担い手として重要な役割を果たし得る。
- 地域に関わる多様な人材を地域づくりに生かすためには、地域側と地域外の人材や移住者側との相互理解と協働が不可欠。
- 地域にルーツを持ち継続的に地域コミュニティ活動にも貢献している「近居の者」や「遠居の者」、都市と「ふるさと」の間を行き来するいわば「風の人」のほか過去に勤務や居住、滞在の経験等を持つ「特定の関わりがある者」など、人々の「ふるさと」との関わり方は多様となっている。中には、「ふるさと」に対する想いをアクションに移し、資金や知恵、労力を積極的に提供する取組みも生まれ始めている。
- このような「ふるさと」との関わりを深化させるためには、長期的な「定住人口」や短期的な「交流人口」でもなく、地域や地域の人々と多様に関わる者である「関係人口」に着目し、「ふるさと」に想いを寄せる地域外の人材との継続的かつ複層的な人的ネットワークを形成し、地域づくりに継続的に貢献できるようにすることが重要。

## 今後の方向性

### 1 段階的な移住・交流を支援する（図1）

- 地方移住を希望する者が移住に向けた階段を一步一步登ることができるよう、地域外の者と地域の交流の入り口を積極的に創出し、その一段一段を低く感じさせるような施策を充実させ、将来の移住・定住を促すための仕組みを整えることが必要。
  - 地域への多様な入り口（小学校から高校、大学までの間、農山漁村等における豊かな体験を通して関心を高めること、クォーター制導入を機に地域の暮らしの経験や地域滞在型インターンシップの機会提供 等）

### 2 「ふるさと」への想いを受け止める（図2～図4）

- 必ずしも「移住」という形でなくとも、特定の地域である「ふるさと」に対して想いを寄せ、関わり貢献しようとする人々の動きを積極的に受け止め、人々と「ふるさと」とのより深い関わりを継続的に築く新たな仕組みを具体的に検討することが必要。
- 新たな仕組みによって、国民全体で支えていくべき農山漁村等ふるさとの公益的機能、役割の認識を促すとともに、ふるさとの地域づくりの担い手として、現に様々な関わりを持つ地域外の者（近隣に居住し地元で頻繁に通う「近居の者」や地域に居住することなく地域づくりに積極的にかかわる「風の人」等）の役割を再評価し、また、出身者のみならず、過去に勤務、居住、滞在していた者など特別の関係性とふるさとへの想いを持つ人等によるふるさとへの関わり、貢献を新たに引き出すことも期待。
- さらに、「定住人口」でも、短期的な「交流人口」でもなく、地域や地域の人々と多様に関わる者を「関係人口」と位置づけて、地域づくりを動かす存在として、その増大に向けた取組みを促すほか、新しいライフスタイルや働き方により生じている都市地域等と農山漁村等の間の人口の流動化の動きを加速させ、都市と農村における新しい共生の形を後押しをすべき。

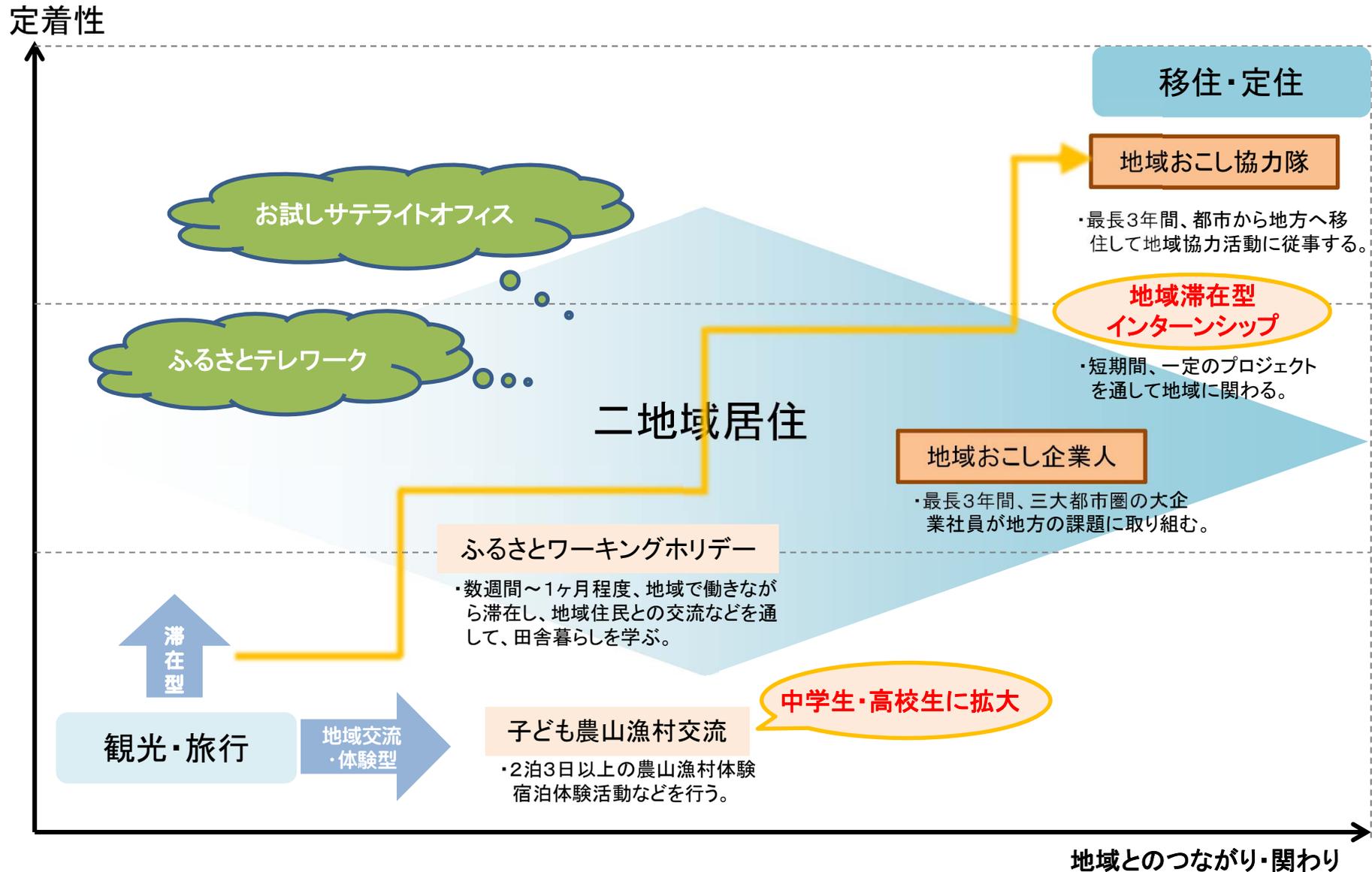
### 3 地域における環境を整える（図5）

- これからの移住・交流、「ふるさと」との関わりを深める取組を展開していくためには、地域外の人材である「関係人口」と受け入れ地域をつなぐコーディネート機能、プロデュース機能が重要であり、とくに地域においてその機能を担う中間支援組織を支える人材育成を支援することなどにより、地域における環境を整えることが必要となる。

「ふるさと」への想いを受け止める新たな仕組みの具体的なあり方をはじめ、施策の具体案については、当検討会において引き続き議論。

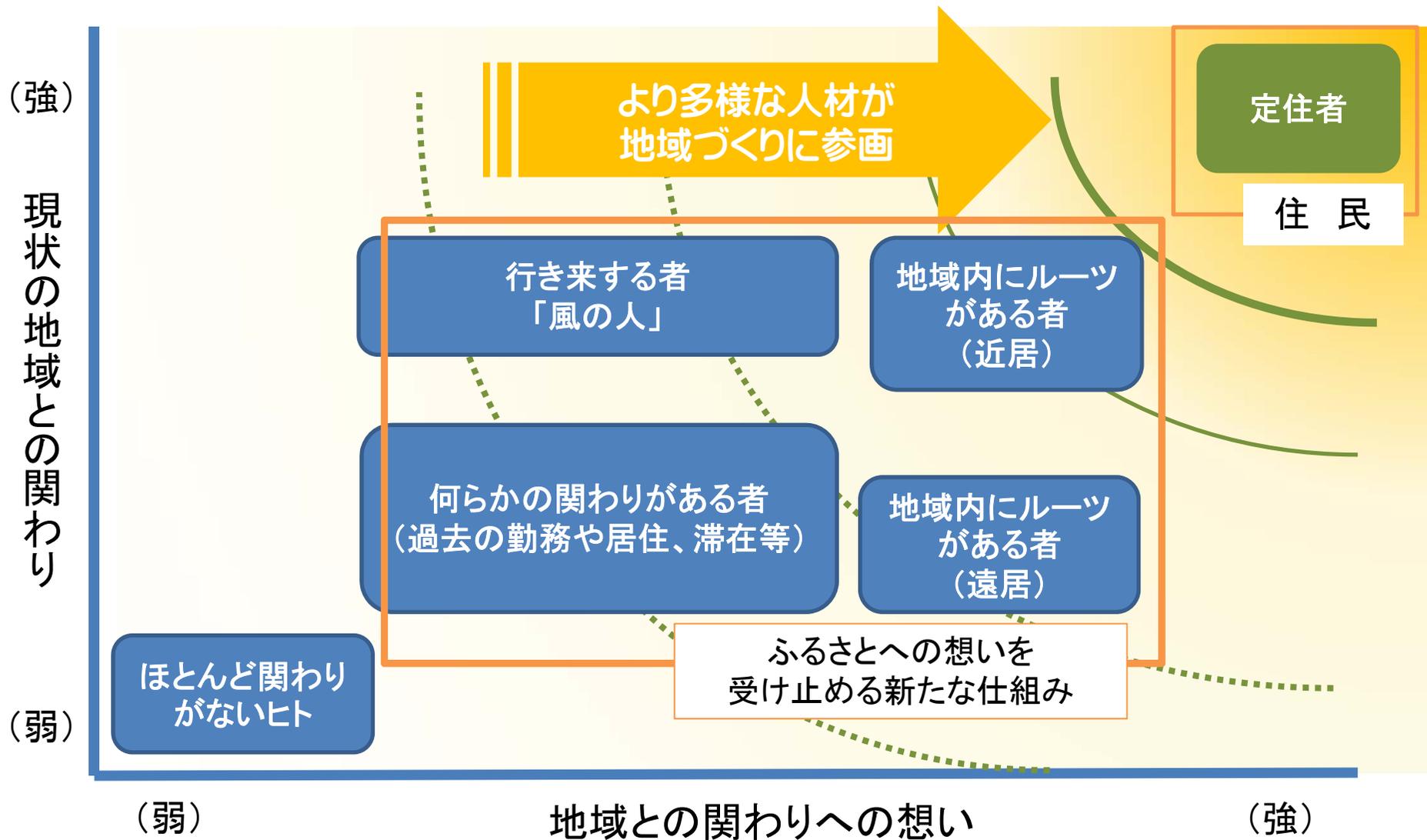
# 段階的な移住・交流の支援

図1



# 地域外の人材と地域の関わりへの深化

図2



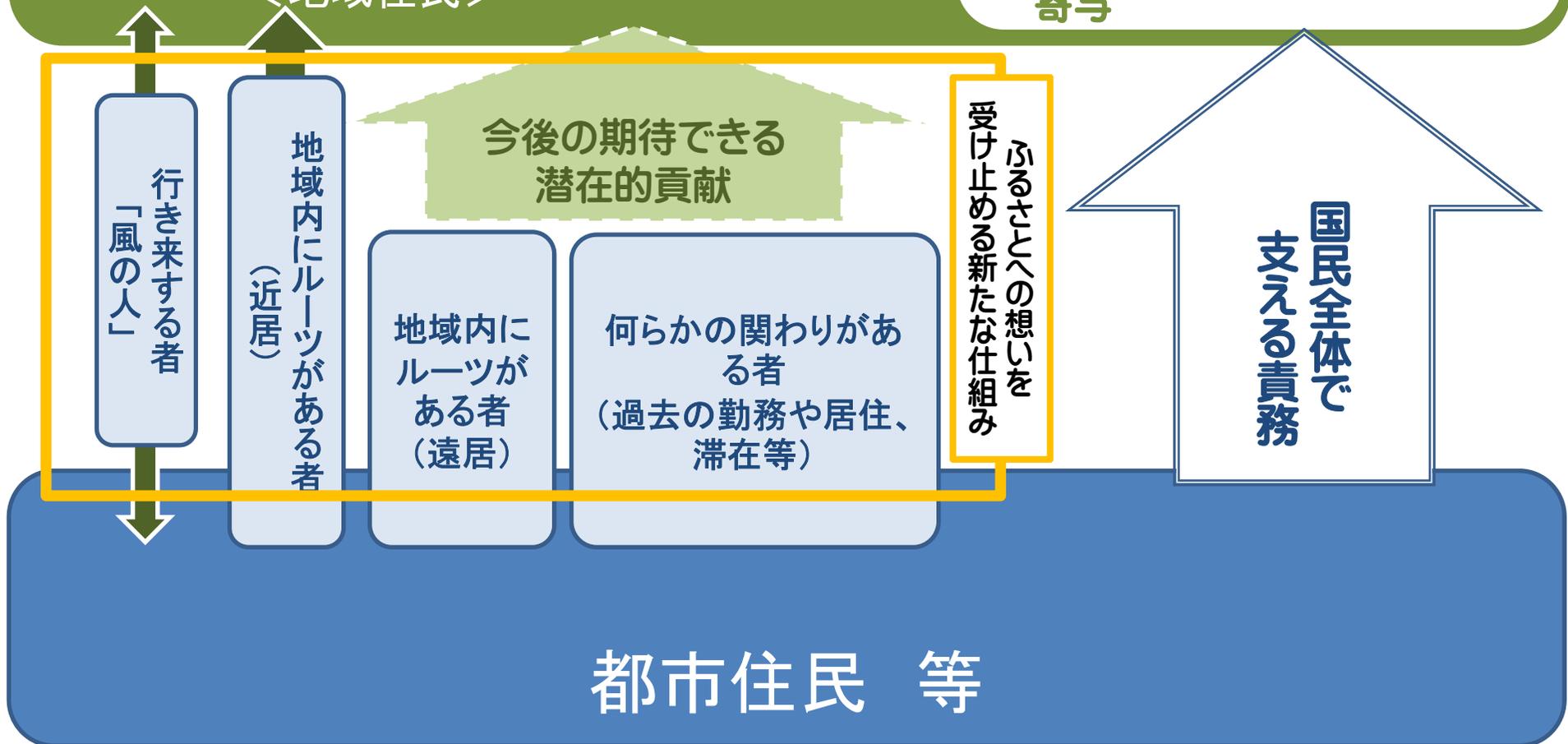
## 農山漁村等の「ふるさと」の地域づくり

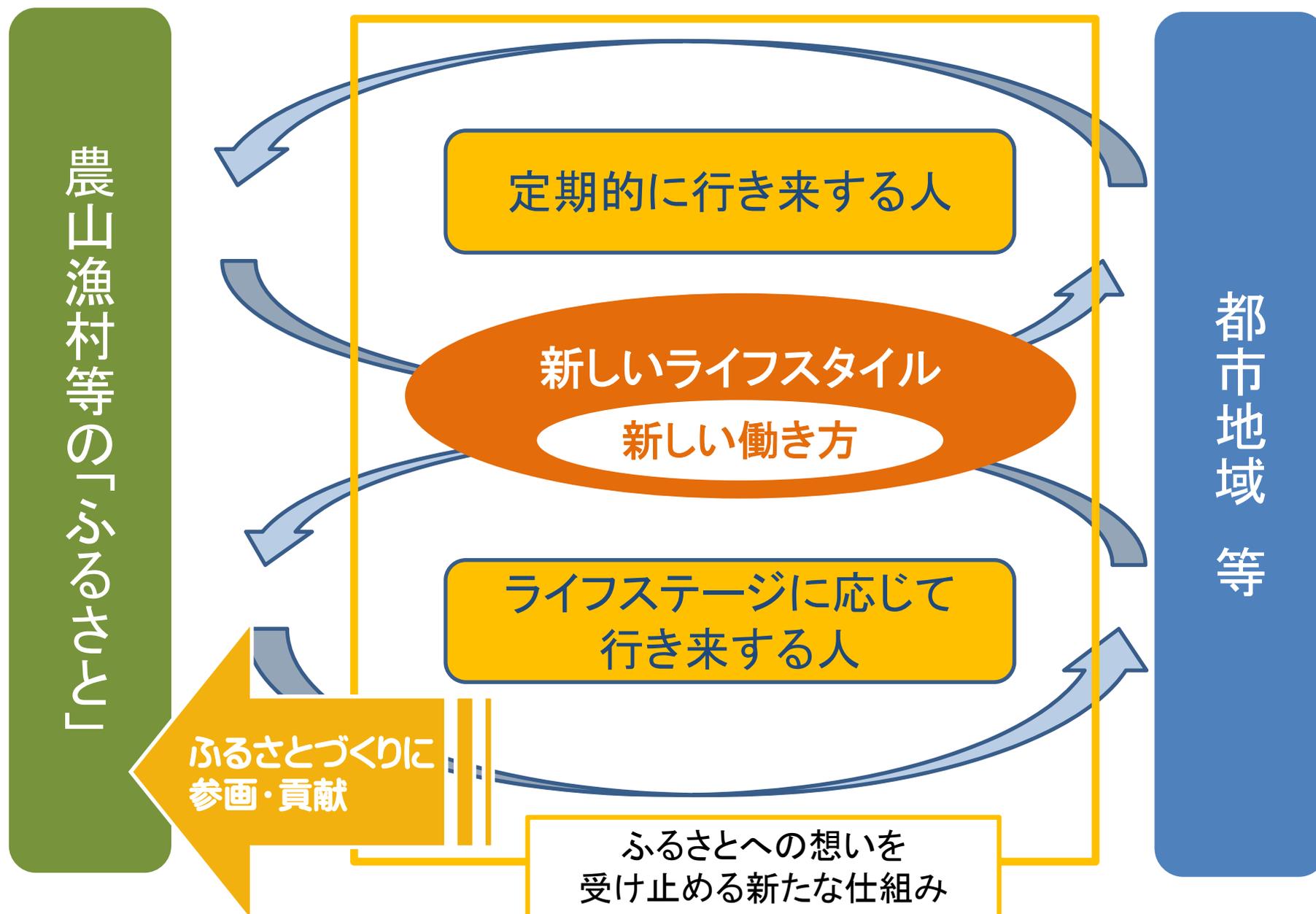
(地域と地域の暮らしを支える取組)

- ◆ 日常生活機能、地域コミュニティ機能の維持・確保
- ◆ 地域ならではの新しいビジネス・働き方の創出

<地域住民>

- 安全・安心な食料、水の供給
- 国土保全
- 都市住民を含む国民が新しいライフスタイルを実現する場
- 多様で風格ある国づくりへの寄与





# 「関係人口」と地域をつなぐ中間支援機能

図5

